

文部科学省令和2年度科学技術人材養成等委託事業

「リサーチ・アドミニストレーターの認定制度の実施に向けた調査・検証」
研修試行実施要項

本試行の実施に関わる重要事項が記載されています。
お申し込みの前に必ずお読みください。

お申し込み期間

令和2年9月11日（金）～令和2年9月23日（水）正午

令和2年9月11日

1. 試行の趣旨

文部科学省令和元年度科学技術人材養成等委託事業「リサーチ・アドミニストレーターに係る質保証制度の構築に向けた調査研究（受託機関：金沢大学）」（以下、令和元年度事業）において、リサーチ・アドミニストレーター（URA）関係団体（リサーチ・アドミニストレーター協議会、研究大学コンソーシアム、学術研究懇談会、大学技術移転協議会、多能工型研究支援人材育成コンソーシアム、医療系産学連携ネットワーク協議会、科学技術振興機構）ならびに多くの方々の協力を得て、認定スキームおよび研修プログラムの具体的な内容について検討を行いました。

文部科学省令和2年度科学技術人材養成等委託事業「リサーチ・アドミニストレーターの認定制度の実施に向けた調査・検証（受託機関：金沢大学）」（以下、令和2年度事業）では、令和元年度事業で検討した認定スキーム及び研修について、規模を拡大した形で試行と検証することとなっています。

本試行は、上記を踏まえ、令和元年度事業で開発した教材に基づく研修を実施し、内容・レベル等の確認とその検証を目的とします。

2. 試行の内容

令和2年度事業では、令和元年度事業で設定された Fundamental, Core, Advanced レベルのうち、Fundamental, Core レベルの全科目について試行を行います。

- Fundamental レベル：URA 業務上の課題の発見と解決を上司の指導のもとに行うことができる知識のレベル
- Core レベル：URA 業務上の課題の発見と解決を自立的に行うことができる知識のレベル

Fundamental レベル、Core レベルともに、10 科目群 15 科目で構成されています。今回はこの全 15 科目を試行します。

<科目一覧：Fundamental レベル、Core レベル共通>

記号	科目群	番号	科目名
A	研究機関と URA	1	大学等の研究機関
		2	日本の URA
B	研究力分析とその活用	3	科学技術政策概論
		4	研究力分析とその活用
C	研究開発評価	5	研究開発評価
D	外部資金	6	外部資金概論
		7	申請書・報告書の作成支援
E	研究プロジェクト	8	研究プロジェクトのマネジメント手法
F	産学官連携	9	産学官連携
		10	地域連携
G	知的財産	11	知的財産

H	研究コンプライアンス とリスク管理	12	研究コンプライアンス及びリスク管理①
		13	研究コンプライアンス及びリスク管理②
I	研究広報	14	広報
J	国際化推進	15	国際化推進

3. 実施方法

試行の実施方法は、科目によって異なります。

オンデマンド型：事前に用意された教材を、受講者の任意の時間に受講し確認テストを受験します。今回は Moodle（学習管理システム）上で受講していただきます。

リアルタイム型：決められた日時に開催される研修に参加し、別途確認テストを受験します。今回は zoom（オンライン会議ツール）を用いて研修を受講し、確認テストは Moodle 上で受験していただきます。

科目ごとの詳しい実施方法、実施日時等については、7. 研修科目の実施形式、実施方法および講師、8. スケジュールで示します。

4. 試行受講者の募集

7 以降で示す方法・日時で実施する研修試行に協力してくださる方を募集します。なお、令和元年度事業における一部試行にご協力いただいた方のお申し込みも可能です。その場合、当該科目（Core レベルの 3 科目）の受講は不要ですが、確認テストの受験は必須です。

(1) Fundamental レベルのみの研修試行受講者：10 名程度

以下の全てを満たす方

- URA あるいは URA 類似職としての業務経験を有しない、または 1~2 年程度の業務経験を有する
- Fundamental レベル全科目の受講ができる
- 本試行に関するアンケートへの回答に必ず協力できる

(2) Fundamental レベルと Core レベルの全ての研修試行受講者：50 名程度

以下の全てを満たす方

- URA あるいは URA 類似職としての業務経験を 3 年以上有する
- Fundamental レベルと Core レベルの全科目の受講ができる
- 本試行に関するアンケートへの回答に必ず協力できる

(1)、(2) の募集区分のいずれにおいても、募集人数を大幅に超えるお申し込みがあった場合は、試行の趣旨を踏まえ、所属機関の属性、地域、業務内容、経験年数、性別等が多様になるよう選考することがあります。ご希望に添えない場合もありますのであらかじめご了承ください。

<注意事項>

- (2) でお申し込みいただいた場合は、Fundamental レベル(10 科目群 15 科目)と Core レベル (10 科目群 15 科目) のすべての科目を受講していただきます。
- (2) については、Fundamental レベルを受講してから Core レベルを受講していただく必要があります。レベル内の受講順はカリキュラムマップに示された順番での受講を推奨します。
- (1) (2) いずれにおいても一部の科目のみの受講はできません。
- 演習実施科目については、リアルタイムでの参加が必須となります。予定が合わない等の理由で演習を含むリアルタイム実施科目に参加できなかった場合は、未受講として扱われます。
- リアルタイム型でも「講義」のみの科目については、レベルを問わずリアルタイムで実施後、動画を Moodle 上にアップロードしますので、その視聴をもって受講したとみなします。ただし、リアルタイムでの受講を強く推奨します。
- いずれの場合も研修試行への参加に対する謝金はお支払いいたしません。
- 受講には PC、インターネット環境が必要です。PC、インターネット環境等は受講者ご自身でご用意ください。接続不良等に起因する未受講（特にリアルタイム型で実施する科目）等については責任を負いかねます。
- インターネット環境については動画視聴（Moodle および Zoom）、動画（zoom）での双方向通信が可能なものを各自でご用意ください。今回はタブレットやスマートフォンでの視聴は想定しておりません。
- 演習を実施する科目ではビデオカメラ付き PC が必要です。また、マイクの準備を推奨します。さらに、グループワーク等で発言等が必須となりますので、発声可能な環境からご参加いただく必要があります。
- リアルタイム型研修に参加いただく際は、指定された形でのお名前の表示とカメラをオンにした形（顔を表示する形）での参加を必須とします。
- 研修に用いる資料の複製は認めておりません。ダウンロードおよび印刷はできませんのであらかじめご承知おきください。またスクリーンショット等による複製も固くお断りいたします。

5. 研修試行受講歴の取り扱い

今回の試行は Fundamental レベル、Core レベルそれぞれのレベルで全科目の受講を求めていることから、条件を満たした方には次の証明書を発行します。なお、現時点で研修実施団体、認定実施団体について明らかになっておりませんが、事業実施機関として本試行における証明書の活用を働きかける予定です。

本試行の受講証明：それぞれのレベルにおいて全科目を受講したことを証明する書類（全科

目を受講したものの、1科目でも確認テストで不合格になった場合は受講証明になります)。レベルごとに発行します。

本試行の修了証明：それぞれのレベルにおいて全科目を受講し、全科目の確認テストに合格したことを証明する書類。レベルごとに発行します。

なお、予定が合わない等の理由で演習を含むリアルタイム実施科目に参加できなかった場合は、未受講として扱われ、いずれの証明書も発行できませんのでご注意ください。また、今回の試行において、Coreレベルの修了証明のみ発行される場合（例：Fundamentalレベルを全て受講したが、確認テストで不合格になった科目がある）は、本格実施においてFundamentalレベルの修了証明が別途必要になる可能性があります。

6. 申し込み期間

令和2年9月11日（金）～令和2年9月23日（水）正午

お申し込み方法は、9. お申し込み方法に示しています。以下に示す実施方法、スケジュールをよく確認の上お申し込みください。

7. 研修科目の実施形式、実施方法および講師

Fundamentalレベル							
科目群 記号	科目群	科目 番号	科目名	研修 時間	形式	実施方法	講師名（五十音順）
A	研究機関とURA	1	大学等の研究機関	60分	講義	オンデマンド型	馬場 忠氏（筑波大学）
		2	日本のURA	60分	講義	オンデマンド型	高橋 真木子氏（金沢工業大学）
B	研究力分析とその活用	3	科学技術政策概論	60分	講義	オンデマンド型	小山田 和仁氏（JST 研究開発戦略センター）
		4	研究力分析とその活用	60分	講義	オンデマンド型	清家 弘史氏（京都大学）
C	研究開発評価	5	研究開発評価	60分	講義	オンデマンド型	林 隆之氏（政策研究大学院大学）
D	外部資金	6	外部資金概論	60分	講義	オンデマンド型	岡野 恵子氏（横浜市立大学）
		7	申請書・報告書の作成支援	60分	講義	オンデマンド型	石田 貴美子氏（同志社大学）
E	研究プロジェクト	8	研究プロジェクトのマネジメント手法	60分	講義	リアルタイム型	高野 誠氏（大阪大学） 寺本 時靖氏（神戸大学）
F	産学官連携	9	産学官連携	60分	講義	オンデマンド型	伊藤 伸氏（東京農工大学） 大澤 住夫氏（信州TLO） 正城 敏博氏（大阪大学）
		10	地域連携	90分	講義	リアルタイム型	石塚 悟史氏（高知大学） 前波 晴彦氏（自然科学研究機構）
G	知的財産	11	知的財産	90分	講義	リアルタイム型	本田 圭子氏（東大TLO）
H	研究コンプライアンス とリスク管理	12	研究コンプライアンス及びリスク管理①	60分	講義	オンデマンド型	阿部 紀里子氏（信州大学）
		13	研究コンプライアンス及びリスク管理②	60分	講義	オンデマンド型	飯田 香緒里氏（東京医科歯科大学） 狩野 幹人氏（三重大学）
I	研究広報	14	広報	60分	講義	オンデマンド型	白井 哲哉氏（京都大学）
J	国際化推進	15	国際化推進	60分	講義	オンデマンド型	園部 太郎氏（京都大学） 三代川 典史氏（広島大学）

Coreレベル							
科目群 記号	科目群	科目 番号	科目名	研修 時間	形式	実施方法	講師名（五十音順）
A	研究機関とURA	1	大学等の研究機関	60分	講義	オンデマンド型	馬場 忠氏（筑波大学）
		2	日本のURA	60分	講義	オンデマンド型	高橋 真木子氏（金沢工業大学）
B	研究力分析とその活用	3	科学技術政策概論	60分	講義	リアルタイム型	小山田 和仁氏（JST 研究開発戦略センター）
		4	研究力分析とその活用	90分	講義	リアルタイム型	藤井 翔太氏（大阪大学）
C	研究開発評価	5	研究開発評価	60分	講義	オンデマンド型	林 隆之氏（政策研究大学院大学）
D	外部資金	6	外部資金概論	60分	講義	オンデマンド型	岡野 恵子氏（横浜市立大学）
		7	申請書・報告書の作成支援	60分	講義	オンデマンド型	石田 貴美子氏（同志社大学）
E	研究プロジェクト	8	研究プロジェクトのマネジメント手法	180分	講義と演習	リアルタイム型	柴田 徹氏（東京都立大学） 平田 徳宏氏（信州大学）
F	産学官連携	9	産学官連携	120分	講義と演習	リアルタイム型	伊藤 伸氏（東京農工大学） 大澤 住夫氏（信州TLO） 正城 敏博氏（大阪大学）
		10	地域連携	120分	講義と演習	リアルタイム型	伊藤 正実氏（群馬大学）
G	知的財産	11	知的財産	120分	講義と演習	リアルタイム型	山本 貴史氏（東大TLO）
H	研究コンプライアンス とリスク管理	12	研究コンプライアンス及びリスク管理①	90分	講義と演習	リアルタイム型	阿部 紀里子氏（信州大学）
		13	研究コンプライアンス及びリスク管理②	90分	講義と演習	リアルタイム型	飯田 香緒里氏（東京医科歯科大学） 狩野 幹人氏（三重大学）
I	研究広報	14	広報	60分	講義	リアルタイム型	白井 哲哉氏（京都大学）
J	国際化推進	15	国際化推進	60分	講義	リアルタイム型	園部 太郎氏（京都大学） 三代川 典史氏（広島大学）

※研修時間は対面で実施する際の時間です。オンラインの場合は多少前後する場合があります。

※「講義と演習」で実施するリアルタイム型の科目は、当該科目の実施日時での参加が必須です。

8. スケジュール

オンデマンド型は10月から受講できるように準備を進めています。リアルタイム型については次頁以降のスケジュールを参照してください。なお、研修は、Fundamental レベルを受講したのち Core レベルを受講していただきます。レベル内の受講はカリキュラムマップに示された順番で受講することを強く推奨します。

<試行に向けた大まかな予定>（予定のため変更になる可能性があります）

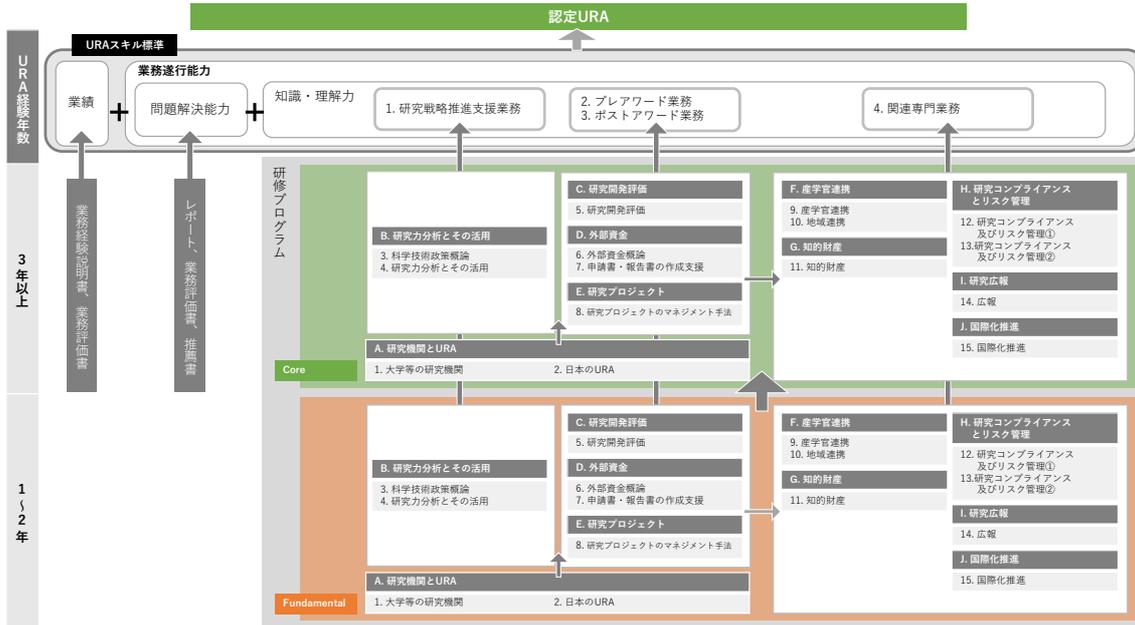
9月中旬：実施要項の公表，試行参加者の募集（web 上からの申し込み）

10月：受講に必要なID，パスワード等の配付

10月～：Fundamental レベルの受講 Fundamental レベル受講終了時にアンケート

11月～：Core レベルの受講 Core レベル受講終了時にアンケート

<カリキュラムマップ>



<研修試行受講モデル>

- 全ての Fundamental レベルの科目を受講したのち、Core レベル科目を受講してください (Fundamental レベルのみの受講者は除く)。
- Fundamental レベル内の受講、Core レベル内の受講については、カリキュラムマップを参考に、可能な限り科目番号順に受講してください。

10月

月	火	水	木	金	土	日
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
オンデマンド型科目 受講推奨期間1(~10/11) Fundamentalレベル A1 大学等の研究機関 A2 日本のURA B3 科学技術政策概論 B4 研究力分析とその活用						
12	13 E8 研究プロジェクトの マネジメント手法 14:00-15:00	14	15	16	17	18
オンデマンド型科目 受講推奨期間2(~10/18) Fundamentalレベル C5 研究開発評価 D6 外部資金概論 D7 申請書・報告書の作成支援						
19	20	21	22 F10 地域連携 14:00-15:30	23	24	25
オンデマンド型科目 受講推奨期間3(~10/25) Fundamentalレベル F9 産学官連携 H12 研究コンプライアンス及びリスク管理① H13 研究コンプライアンス及びリスク管理②						
26 G11 知的財産 15:00-16:30	27	28	29	30	31	1
オンデマンド型科目 受講推奨期間4(~11/1) Fundamentalレベル I14 広報 J15 国際化推進						

11月

月	火	水	木	金	土	日
26	27	28	29	30	31	1
2	3 文化の日	4 B3 科学技術政策概論 10:00-11:00	5	6 B4 研究力分析とその活用 14:00-15:30	7	8
オンデマンド型科目 受講推奨期間1(~11/15) Coreレベル		A1 大学等の研究機関 A2 日本のURA	D6 外部資金概論 D7 申請書・報告書の作成支援			
9	10 E8 研究プロジェクトの マネジメント手法 14:00-17:00 (1回目)	11	12	13 E8 研究プロジェクトの マネジメント手法 9:30-12:30 (2回目)	14	15
16	17 G11 知的財産 14:00-16:00	18 J15 国際化推進 10:30-11:30(1回目) 13:30-14:30 (2回目)	19	20 F10 地域連携 10:00-12:00(1回目) 13:30-15:30(2回目)	21	22
23 勤労感謝の日	24 I14 広報 10:30-11:30	25 H12 研究コンプライア ンス及びリスク管理① 10:30-12:00 H13 研究コンプライア ンス及びリスク管理② 13:15-14:45	26	27 F9 産学官連携 10:00-12:00 (1回目) 13:30-15:30 (2回目)	28	29
30	1	2	3	4	5	6

<リアルタイム型の実施スケジュール>

リアルタイム型で実施する科目の開講日時

● Fundamental レベル

科目群 番号	科目 番号	科目名	日時
E	8	研究プロジェクトのマネジメント手法	10/13 (火) 14:00-15:00
F	10	地域連携	10/22 (木) 14:00-15:30
G	11	知的財産	10/26 (月) 15:00-16:30

● Core レベル

科目群 番号	科目 番号	科目名	実施回	日時
B	3	科学技術政策概論	-	11/4 (水) 10:00-11:00
B	4	研究力分析とその活用	-	11/6 (金) 14:00-15:30
E	8	研究プロジェクトのマネジメント手法	1回目	11/10 (火) 14:00-17:00
			2回目	11/13 (金) 9:30-12:30
F	9	産学官連携	1回目	11/27 (金) 10:00-12:00
			2回目	11/27 (金) 13:30-15:30
	10	地域連携	1回目	11/20 (金) 10:00-12:00

			2回目	11/20 (金) 13:30-15:30
G	11	知的財産	-	11/17 (火) 14:00-16:00
H	12	研究コンプライアンス及びリスク管理①	-	11/25 (水) 10:30-12:00
	13	研究コンプライアンス及びリスク管理②	-	11/25 (水) 13:15-14:45
I	14	広報	-	11/24 (火) 10:30-11:30
J	15	国際化推進	1回目	11/18 (水) 10:30-11:30
			2回目	11/18 (水) 13:30-14:30

9. お申し込み方法

下記のリンク先にお示しする申し込みフォームにお進みいただき、必要事項を入力の上送信してください。ご提供いただく情報に基づき協力者を検討しますので、必ずご回答ください。

<https://ura-cert.w3.kanazawa-u.ac.jp/shikou>

10. その他

- 受講の詳細については、試行受講者が確定後、該当者へ事務局からご連絡いたします。
- 本試行へのご参加にあたり、受託機関である金沢大学からは依頼状等のお手続きは致しませんので、所属機関内におけるご対応は各自でお願いいたします。
- リアルタイムで複数回実施する科目については、お申し込み時点で希望された日時での参加とし、お申し込み後の変更は不可とします。ただし、研修を効果的に行う観点で事務局から変更依頼がある場合があります。
- 受講者としてご協力いただく方の上長（部門長や所属長等）に簡単なアンケートをお願いする予定ですので、あらかじめご承知おきください。

11. お問い合わせ

金沢大学先端科学・社会共創推進機構

URA 質保証事務局（担当：稲垣）

ura_cert@adm.kanazawa-u.ac.jp

お問い合わせはメールでお願いいたします。